

評価シート（年度評価）

名古屋市民御岳休暇村の管理運営状況

1 基本情報

<所管局:観光文化交流局>

指定管理者	公益財団法人名古屋市民休暇村管理公社		
主な業務内容	名古屋市民御岳休暇村の管理		
評価対象期間	令和2年4月～令和3年3月	指定管理期間	平成28年4月～令和3年3月

2 評価結果

評価項目			評価区分	特記事項
1 基本事項	(1) 平等利用	市民の利用にあたって不公平が生じていないか。	○	
	(2) 開館の実績	利用日・利用時間が遵守されているか。	○	
	(3) 情報管理	情報の管理・保護が適切になされているか。	○	
	(4) 職員体制	職員の配置、勤務実績、労働環境等は適切か。	○	
	(5) 法令等の遵守	法令、協定書等を遵守しているか。	○	
	(6) 事故・災害等への対策・対応	事故・災害等発生時の対策・対応が行われているか。	○	
2 維持管理	(1) 建物・設備の維持管理	建物・設備が適切に維持管理及び修繕されているか。	○	
	(2) 森林など自然環境の整備・保全	休暇村の自然環境が良好に保たれているか。	○	
	(3) 清掃・安全衛生管理	利用者が快適・安全に利用できるよう清掃衛生管理されているか。	○	
	(4) 備品の管理	備品が適切に管理されているか。	○	
3 サービス	(1) 利用実績	当初計画に沿った利用実績を挙げているか。	△	新型コロナウイルス感染症の影響で、利用実績や事業実施、広報は計画通りとならなかったが、対策を取りながら可能な限りの方策を検討し、取り組んだ。
	(2) 事業実施状況	当初計画に沿った事業が実施されているか。	△	
	(3) 広報・PRの実施	利用促進のための取組みを実施しているか。	△	
	(4) 接客態度	接客態度、名札、服装等は適切か。	○	
	(5) 苦情・要望の把握・対応	利用者の意見、苦情に対して、迅速に対応できているか。	○	
	(6) 利用者満足度	利用者の満足度を把握し、必要に応じて改善しているか。	○	
4 経費等	(1) 執行状況	指定管理料の執行等は適正になされているか。	○	3年間休館していたセントラル・ロッジを令和2年6月8日に再開館したが、新型コロナウイルス感染症の影響で、当初の計画どおり実施できていなかった。
	(2) 収支状況	当初の予定に沿った収支状況になっているか。	△	
	(3) 再委託	再委託の方法は適正か。	○	

【総合評価】

所管局のコメント・特記事項等	
長野県南部で発生した地震の影響により、平成29年6月25日以降休館していたセントラル・ロッジを令和2年6月8日に再開館したが、新型コロナウイルス感染症の影響で予定していた事業を実施できず、当初計画を達成することができなかった。しかしながら、感染症対策を確実に実施しながら、利用者の確保に努め、施設の魅力や利用者サービスの向上に資する各種工事や取り組みを滞りなく遂行するとともに、中止になった植樹祭イベントの代替として、金山総合駅広場にて「市民の森・葵の森」PRデーの実施により施設のある木曽地域と名古屋の連携をPRした。	

施設の現状

市民御岳休暇村

施設の現状	施設概要							
	自然と親しむレクリエーション活動の場として設置された施設です。具体的にはセントラル・ロッジ、キャンプ場の宿泊事業や、豊かな自然環境を活用した自然体験事業を実施しています。 同施設が立地する長野県王滝村及び地元住民との良好な関係を保ち、自然体験事業の地元との連携・協働を進めていくため、長年にわたって地元との信頼関係のある団体を、公募によらず指定管理者として指定しています。							
	市の収支状況(千円)（2年度決算(見込)額）							
	支出			収入				
	指定管理料	その他	計	使用料	その他特定財源	一般財源	計	利用料金
	296,764	82	296,846	7	3,728	293,029	296,764	27,908
	特記事項							
	平成29年6月25日に長野県南部で発生した地震以後、休館していたセントラル・ロッジを令和2年6月8日より再開館した。							

管理運営指標の状況	取組状況					
	指標	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	稼働率(セントラル・ロッジ)	%	25.8	-	-	32.5
	公社主催事業実施状況 (延べ参加人数)	人	9,755	6,629	10,225	2,288
	特記事項					
	平成29年6月25日に長野県南部で発生した地震以後、令和2年6月7日までセントラル・ロッジを休館。					

※支出のうち「その他」欄は、経常修繕費等を記載